

ご あ い さ つ

北海道高等学校教育研究会
会 長 相 沢 克 明

3年以上、私たちの日常生活を大きく制限してきた新型コロナの位置付けが5類へと移行となり、3カ月余りが経ちました。会員の皆様におかれましては、生徒たちの生き生きとした教育活動を取り戻すべく、感染症対策を意識しつつも、コロナ前の活動再開に向け、ご尽力されていることと思います。本当にお疲れさまです。昨年度は、皆様の御理解と御協力により、コロナ禍にありながらも、「北海道の新たな時代を拓く高等学校教育の創造」に向け、本研究会の事業を予定通り進めることができました。心から感謝申し上げます。

さて、本研究会は、昭和 38(1963)年に設立されて以降、脈々と歴史を重ね、今年度で 60 年目、還暦を迎えました。そこで、今年度の第 61 回大会は「60 周年記念大会」と銘打ち、設立の原点に立ち返りながら、その歩みを振り返るとともに、次なる持続可能な 60 年に向けた新たな一步を踏み出す大会と位置付けました。記念事業に関しては、これまでの財産を、現在、そして未来の本道高等学校教員の皆様が今後の教育実践に有効に活用できることを第一と考え、検討を進めてきました。その結果、その時々々の旬な教育的課題に関する有識者の貴重な提言である全体講演の要旨を改めて編集し、「高教研全体講演 60 年の軌跡」としてまとめ、発行することとしました。この全体講演要旨集は、私たちにとって、北海道高等学校教育の歩みを振り返る意味でも、教育の不易と流行を踏まえつつ、今後の新たな実践を創造する意味でも、貴重な資料になることと思います。

もう一つは、全体集会の講演を、3名の異分野研究者による鼎談型とし、クロストークを通して、現代の高等学校教育が抱える諸課題の根源に迫るとともに、現在、社会から要請されている、異なる他者との連携推進に向けた方策等について、私たち一人一人が探究する契機となることを主眼に実施することとしました。東京工業大学「未来の人類研究センター」^注に所属している、伊藤亜紗教授(美学・現代アート専門)、山本貴光教授(学術史・ゲーム専門)、多久和理実講師(近代物理学史専門)の3名を講師として迎え、(仮題)「ポストコロナでよく生きるために～「利他」から見えてくる景色とこれからの高等学校教育～」をテーマに、普段の研究室からカナモトホールに場所を移し、いつもの「ちゃぶ台トーク」を思う存分、ライブで展開してもらおう予定です。2日目の教科別集会に向け、私たちの知的好奇心を刺激してくれるものと大いに期待しています。

今、私たちは少子化に伴う高等学校教育のサイズダウン化に直面しており、本研究会も、新たな対応を迫られています。会計規模が縮小する中、残念ながら、周年記念事業については、今回の 60 周年をもって終了することとしました。ただ、これを後退ととらえるのではなく、さらに質の高い研究組織への新たな一步と前向きにとらえていきたいと考えています。そんな思いを共有し、60 周年記念大会に全道各地から多くの皆様にご参集されることを心から願っております。今冬、カナモトホールでお会いしましょう。

注) 2020年2月、東京工業大学科学技術創成研究院の中に誕生した研究拠点。私たちはどこから来て、私たちは何者で、私たちはどこへ行くのか。科学技術のよりよい可能性を引き出すためには、数十年、数百年先の人類を見据えた現実的かつ本質的な問いを設定し、理工系の最先端の研究と歩調を合わせながら、科学技術が人間にもたらす変化や守るべき価値、その可能性について多角的に探索する必要があるとし、発足以来、研究テーマ「利他プロジェクト」を展開中。(出典:<https://www.fhrc.ila.titech.ac.jp/about/>)

令和5年度 総会報告

5月8日の午後1時30分より、ホテルライフオーツ札幌において、本年度の総会・第1回研究協議会が開かれました。全道から地区支部長と各教科部会長が集まり、令和4年度事業の実施報告・令和5年度事業計画の審議、役員の改選、研究協議が行われました。以下、その概要をお知らせします。

(1) 令和4年度 事業実施報告

- ア 会報 第117号発行 (令和4年7月)
- イ 大会案内発行 (令和4年11月)
- ウ 大会要項発行 (令和5年1月)
- エ 第60回北海道高等学校教育研究大会報告
 - ① 第1日目 全体集会 (令和5年1月11日(水)) カナモトホール(札幌市民ホール)
 - ② 第2日目 教科別集会 (令和5年1月12日(木)) 各会場
- オ 研究紀要 第60号発行 (令和5年3月)
- カ 会報 第118号発行 (令和5年3月)

(2) 令和5年度 事業計画

ア 第61回北海道高等学校教育研究大会 (60周年記念大会)

① 全体集会

期 日 令和6年1月11日(木)
会 場 カナモトホール(札幌市民ホール)

研究主題 北海道の新たな時代を拓く高等学校教育の創造

日 程

9:00	12:00	13:00	13:40	15:40
	準備	受付	開会式	講演

運 営 大会役員

鼎談型記念講演

トークテーマ (仮)ポストコロナでよく生きるために

～「利他」から見えてくる景色とこれからの高等学校教育～

トークメンバー 伊藤 亜紗 氏 東京工業大学 科学技術創成研究院 未来の人類研究センター長
リベラルアーツ研究教育院教授

山本 貴光 氏 東京工業大学 科学技術創成研究院 未来の人類研究センター
リベラルアーツ研究教育院教授

多久和理美 氏 東京工業大学 科学技術創成研究院 未来の人類研究センター
リベラルアーツ研究教育院講師

司 会 者 日胆支部

② 教科別集会

期 日 令和6年1月12日(金)

情報部会は10日(水)に開催します。

情報部会に参加希望の方は他の教科部会にも参加できます。(参加料はそれぞれ申し受けます)

会場・テーマ 教科部会ごとに決定

日 程 (概 要)

9:00	12:00	13:00	15:00	15:30
受付	講演又は 研究協議	昼食 (休憩)	講演又は 研究協議	部会 ・総会

※ 部会により時程は多少異なります。

講 師 各教科部会で決定(委嘱状・依頼状については、教科部会事務局で発送)

令和5年度北海道高等学校教育研究会 教科別テーマ・会場

部 会	会 場	研 究 テー マ
国 語	北海商科大学	これからの時代に求められる資質・能力を育む国語教育の創造 子どもたちの感性を刺激する国語教育
地歴・公民	北海道有朋高等学校	「社会的な見方・考え方」を育てる ICT を効果的に活用した授業の在り方
数 学	未 定	未 定
理 科	札幌医学技術福祉歯科専門学校	自然科学に関わろうとする主体性を育成するための理科教育 実験実習を核とした探究活動の指導法についての研究・実践 生徒の学びを深める学習評価の開発・実践
保健体育	かでの2・7	令和の日本型学校教育の構築に向けた保健体育授業
養 護	かでの2・7	現代的な健康課題の解決に向けた学校保健活動の推進をめざして
芸 術	札幌大谷大学もしくはかでの 2・7	未 定
英 語	北海道文教大学	21世紀に生きる地球市民をはぐくむ英語教育 English Education in the 21st Century : Fostering Global Citizenship 新しい流れに対応する授業をめざして In Pursuit of New Wave of English Teaching
家 庭	札幌エルプラザ	生涯を見通してよりよい生活を創造する力を育む家庭科教育
農 業	ホテルライフオート札幌 4Fアニマート	国際化と情報化に対応した農業教育の推進 地域農業と融合を図った学校農場づくり
工 業	北海道札幌琴似工業高等学校	社会の発展に貢献する工業教育の創造と実践
商 業	未定	未来を拓く有為な人材を育成するビジネス教育
水 産	北海道小樽水産高等学校	変化の激しい時代をきり拓く水産・海洋教育はいかにあるべきか
情 報	北海道札幌北高等学校	「情報 I」指導内容と方法の工夫・改善 (面白い、わかる授業を目指して)

◎ 参加料 会員 2,000 円 非会員 3,500 円 一般 1,000 円(全体集会)1,500 円(教科別集会)

高等学校教員は全体集会のみ、教科別集会のみ参加でも参加料は同じです。

また、当日参加も参加料は同じです。

イ 研究紀要 第 61 号発行

発 行 令和 6 年 3 月

ウ 会 報 発行

① 第 119 号 発行:令和 5 年 7 月 内容:令和 5 年度総会報告

② 第 120 号 発行:令和 6 年 3 月 内容:第 61 回研究大会報告及び第 61 回研究大会の概要について

エ 60周年記念誌(仮題)発行

令和 6 年 1 月(予定)

令和 6 年度 第 62 回北海道高等学校教育研究大会の開催日について

令和 7 年 1 月 8 日(水) 全体集会

令和 7 年 1 月 9 日(木) 教科別集会

会場はカナモトホール(札幌市民ホール)に決定しました。

研究紀要執筆者募集要項

教科での研究紀要は各教科部会へ、教育一般は各地区支部へ申し出て下さい。たくさんのご応募をお待ちしています。なお執筆者は本研究会の会員に限ります。(すみやかに会員登録をお願いします)

① 原稿募集の種類

(ア)教科は、1教科につき 10ページ以内[横書き 横24文字2段組み1,000行]

(原稿の集約・審査は各教科部会長の担当です)

(イ)教育一般は、1編につき 10ページ以内[横書き 横 24 文字 2 段組み 1,000 行]

(原稿の集約・審査は各地区支部長の担当です)

② 執筆申込締切日 教科部会・地区支部まで 8 月 28 日(月)

執筆者本部決定 9 月 11 日(月) 原稿提出締切 11 月 6 日(月)

全体講演の歩み

～ 第30回大会以降 ～

回	開催年度	講師氏名	演題
30	平 4	伊東 光晴 (放送大学教授 京都大学名誉教授) 古葉 竹識 (野球評論家)	技術革新の現在と社会の変容 耐えて勝つ
31	平 5	C.W.ニコル (作家) 若井 邦夫 (北海道大学教育学部教授)	自然と人間 子どもが発達するとき -必要とあそびのあいだ-
32	平 6	中村雄二郎 (明治大学法学部教授) 杉岡 昭子 (札幌国際プラザ専務理事)	共通感覚と自己表現 「故郷忘れがたく候」の旅
33	平 7	河合 雅雄 (京都大学名誉教授/日本福祉大学教授) 山中 燦子 (北海道学園大学人文学部教授)	人間 -進化の道からずれた動物 世界の中の日本と日本人
34	平 8	佐原 真 (国立歴史民俗博物館副館長) 横湯 園子 (北海道大学教育学部教授)	大むかしと現代 子どもを観る目 -教育臨床心理の立場から-
35	平 9	浅井 信雄 (神戸市外国語大学教授) 中野 武房 (北海道学園北見大学教授)	国際化と私たちの暮らし カウンセリングを体験してみませんか
36	平 10	梶田 叡一 (ノートルダム女子大学学長) シンポジウム	変革期の高校教育を考える 「今こどもの心は」 -問題行動の背景を探る-
37	平 11	養老 孟司 (北里大学教授)	からだと脳
38	平 12	河合 隼雄 (京都大学名誉教授)	青春の夢
39	平 13	阿部 謹也 (共立女子大学学長)	日本社会の構造と教育
40	平 14	五木 寛之 (作家)	日本人のこころ
41	平 15	毛利 衛 (宇宙飛行士/日本科学未来館館長)	宇宙の視点からの教育
42	平 16	寺島 実郎 (三井物産戦略研究所所長 /日本総合研究所所長)	世界潮流と日本および北海道の進路
43	平 17	吉村 作治 (早稲田大学国際教養学部教授)	夢の実現の仕方
44	平 18	桜井 進 (河合塾、早稲田塾、数学講師 /sakurAi Science Factory 主催)	サウンド オブ サイエンス ジョン・ネイピア ～対数誕生物語
45	平 19	金子 勝 (慶應義塾大学経済学部教授)	ニュースの嘘と教育
46	平 20	阿刀田 高 (作家) 阿刀田慶子 (朗読家)	アイデアの発見
47	平 21	福岡 伸一 (青山学院大学理工学部化学・生命科学科教授)	科学のおもしろさをどう伝えるか
48	平 22	見田 宗介 (東京大学名誉教授)	現代社会はどこに向かうか
49	平 23	内田 樹 (神戸女学院大学名誉教授)	転換期の教育 -グローバリズムに抗して
50	平 24	川口淳一郎 (宇宙航空研究開発機構教授)	「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行、 その7年間の歩み
51	平 25	古賀 稔彦 (柔道家、古賀塾塾長、医学博士)	夢の実現 ～挑戦することの大切さ
52	平 26	大棟 耕介 (NPO 法人 日本ホスピタル・クラウン協会理事長 愛知教育大学非常勤講師)	心を開き、活気を生み出す『笑い』の力 ～ホスピタル・クラウンの現場から～
53	平 27	溝上 慎一 (京都大学高等教育研究推進センター教授 大学院教育学研究会(高等教育開発論講座)兼任)	社会に繋がる学習 -アクティブラーニングとトランジション-
54	平 28	中島 岳志 (東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)	自主規制はいかにして起きるのか
55	平 29	児美川孝一郎 (法政大学キャリアデザイン学部教授)	地域の未来をつくるキャリア教育の創造 - 新学習指導要領が示唆すること -
56	平 30	新井 紀子 (国立情報学研究所社会共有知研究センター センター長・教授 一般社団法人教育のための科学研究所代表理事・所長)	AI時代の教育～社会はどこへ向かうか
57	令 元	齊藤 誠一 (北海道大学北極域研究センター 研究推進支援教授)	これからの北極域研究 - 気候変動とSDGsの視点から -
59	令 3	安田 登 (能楽師(ワキ方、下掛宝生流)米国Rolf Institute 公認 ロルファー(米国のボディワーク、ロルフィングの専門家) 関西 大学特任教授)	未来へつながるリベラルアーツ - Society 5.0 時代の古典の価値
60	令 4	長谷山美紀(北海道大学副学長(IR、数理データサイエンス) 大学院情報科学研究院長 創成研究機構データ駆動 型融合研究創発拠点長)	データサイエンス・AI教育 ～これからの北海道を考える～

〔役員〕

会 長	相沢 克明	(札幌旭丘)			
副 会 長	宮岡 勝郎	(札幌琴似工業)			
	西岡 憲廣	(札幌山の手)			
	成田 豪	(石狩翔陽)			
	杉本 式史	(札幌新川)			
監 事	矢田 春義	(札幌新川)			
	阿部 敏幸	(札幌東商業)			
顧 問	綾井 健二	武田 泰明	田村 勸	島 隆	
	青塚 健一	金間 正克	宮浦 俊明	守屋 開	
	佐々木高至	石黒 清裕	林 恵子		

〔地区支部長〕

〔石狩〕	太田 潤一	(札幌工業)
〔道南〕	花松 均	(市立函館)
〔後志〕	川嶋 修一	(留寿都)
〔空知〕	古川 栄一	(滝川)
〔道北〕	木幡 かおる	(旭川北)
〔オホーツク〕	山崎 逸子	(佐呂間)
〔釧根〕	加藤 誠	(弟子屈)
〔十勝〕	俵 英生	(芽室)
〔日胆〕	小川 政博	(白老東)

〔教科部会長〕

〔国語〕	渡辺 淳一	(岩見沢東)
〔地歴・公民〕	阿部 穰	(有朋)
〔数学〕	宮澤 一	(札幌南)
〔理科〕	森田 泰史	(紋別)
〔保健体育〕	町田 英謙	(札幌東豊)
〔養護〕	渡邊祐美子	(石狩翔陽)
〔芸術〕	石若 拓哉	(追分)
〔英語〕	金山 泰幸	(千歳)
〔家庭〕	佐紺 摂子	(森)
〔農業〕	本谷 一	(ニセコ)
〔工業〕	宮岡 勝郎	(札幌琴似工業)
〔商業〕	桑島 宏明	(札幌啓北商業)
〔水産〕	亀山 喜明	(小樽水産)
〔情報〕	朝倉 洋一	(室蘭東翔)

〔事務局〕

事務局 長	蒲生 崇之	(札幌旭丘)		
事務局 次長	小泉 泰之	(札幌旭丘)	中辻 拓実	(札幌旭丘)
	細田亜紀子	(札幌旭丘)	松林 憲人	(札幌旭丘)

〔地区支部〕

地区支部	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
石狩	札幌工業	平井 柳太	060-0820	札幌市北区北20条西13丁目	011-727-3341	011-727-3344
道南	市立函館	渡部 慶一	040-0002	函館市柳町11番5号	0138-52-0099	0138-52-9933
後志	留寿都	小鍋 祐哉	048-1731	虻田郡留寿都村字留寿都179番地1	0136-46-3376	0136-46-3386
空知	滝川	米根洋一郎	073-0023	滝川市緑町4丁目5-77	0125-23-1114	0125-22-1115
道北	旭川北	山内 宣明	070-0901	旭川市花咲町3丁目	0166-51-4620	0166-51-2818
オホーツク	佐呂間	清水谷ゆきえ	093-0505	常呂郡佐呂間町字北311番1	01587-2-3653	01587-2-2571
釧根	弟子屈	多賀 友秋	088-3214	川上郡弟子屈町高栄3丁目3番20号	015-482-2237	015-482-2532
十勝	芽室	野村 秀一	082-0801	河西郡芽室町東めむろ1条北1丁目6番地	0155-62-2624	0155-62-2624
日胆	白老東	塚原 康隆	059-0903	白老郡白老町日の出町5丁目17-3	0144-82-4280	0144-82-4766

※教頭が担当

教科部会	事務局校	事務担当者	〒	住所	Tel	Fax
国語	北広島西	榑 優美	061-1105	北広島市西の里東3丁目3-3	011-375-2771	011-375-2661
地歴・公民	有朋	志田 光瑞	002-8504	札幌市北区屯田9条7丁目	011-773-8200	011-773-8300
数学	札幌南	佐藤 規文	064-8611	札幌市中央区南18条西6丁目1-1	011-521-2311	011-521-2316
理科	札幌藻岩	武田 幸大	005-0803	札幌市南区川沿3条2丁目1-1	011-571-7811	011-571-7814
保健体育	札幌英藍	蓬田 泰生	002-8053	札幌市北区篠路町篠路372-67	011-771-2004	011-771-2013
養護	札幌月寒	岡 香	062-0051	札幌市豊平区月寒東1条3丁目1-1	011-851-3113	011-851-3112
芸術	札幌南	磯部 康志	064-8611	札幌市中央区南18条西6丁目1-1	011-521-2311	011-621-2316
英語	千歳	一岡 憲和	066-8501	千歳市北栄1丁目4-1	0123-23-9145	0123-23-2742
家庭	札幌東陵	影山 文那	007-8585	札幌市東区東苗穂10条1丁目2番21号	011-791-5055	011-791-5095
農業	ニセコ	新濱 是彦	048-1501	虻田郡ニセコ町字富士見141番地9	0136-44-2224	0136-43-2031
工業	札幌琴似工業	佐藤 寿彦	063-0833	札幌市西区発寒13条11丁目3-1	011-661-3251	011-661-3252
商業	札幌啓北商業	野口 浩史	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15-1	011-591-2021	011-591-2023
水産	小樽水産	岩岬 耕平	047-0001	小樽市若竹町9-1	0134-23-0670	0134-23-4553
情報	札幌北	前田健太郎	001-0025	札幌市北区北25条西11丁目1	011-736-3191	011-736-3193

〔部会長校〕 国語(岩見沢東) 理科(紋別) 保健体育(札幌東豊) 養護(石狩翔陽) 芸術(追分) 家庭(森) 情報(室蘭東翔)

◎令和5年度 会員登録者数一覧

(令和5年7月31日現在)

	国語	地歴 公民	数学	理科	保健 体育	養護	芸術	英語	家庭	農業	工業	商業	水産	情報	合計	前年 合計
石狩	79	111	108	99	85	24	44	121	39	7	18	36	1	36	808	810
道南	10	15	10	10	10	5	3	22	8	6	6	9	37	1	152	147
後志	5	10	7	5	2	2	4	8	2	20	3	2	31	1	102	90
空知	5	5	3	14	12	2	8	8	6	13	2	7	0	0	85	87
道北	19	33	21	22	12	5	4	27	9	20	12	14	0	3	201	196
ホーツク	10	17	6	15	9	3	3	18	7	5	2	11	0	3	109	110
釧根	14	15	13	17	6	1	3	10	3	6	5	10	12	3	118	115
十勝	7	12	8	6	9	2	0	10	1	12	4	3	0	3	77	68
日胆	16	19	12	16	15	2	6	19	7	5	9	5	0	5	136	138
合計	165	237	188	204	160	46	75	243	82	94	61	97	81	55	今年度	1,788
R4年度	184	231	193	203	156	41	74	220	75	95	62	105	79	43	R4年度	1,761
年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
会員数	3,063	3,049	2,785	2,721	2,592	2,473	2,369	2,283	2,253	2,196	2,197	2,205	2,149	1,929	1,804	1,761

事務局から

所謂「コロナ禍」という感染症対応は、この原稿を書いている時点では一旦の「落ち着き」を見せている様相で、学校教育現場には「元の活気」や活動制限をしていた協働学習の取組が戻ってきました。しかし「変化の激しい社会」という題目を、これほどまでに実感することはない、しかも「コロナ禍」によってその変化が更に加速したのは間違いありません、この原稿が世に出る頃ですらも、どのような世の中になっているかも想像できません。

そんな「不易流行」の流行ばかりが気になる世の中ですが、高等学校教育における不易とは何でしょうか。変化が激しい世の中だからこそ、一度立ち止まって、学校教育の「本質」を考える時間も欲しくなります。そこで今年度の高教研全体会では「ポストコロナ」をどのように生きるかをテーマにして、伊藤亜紗先生・山本貴光先生・多久和理実先生(みなさま東京工業大学科学技術創成研究院未来の人類研究センターリベラルアーツ研究教育院)のお三方を招聘して鼎談を実施します。

今年度の「全体会」は木曜日です。令和6年1月11日、カナモトホールで皆様にお会いできることを楽しみにしております。

発行 令和5年7月
北海道高等学校教育研究会本部事務局
〒064-8535
札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5番18号
市立札幌旭丘高等学校内
TEL 011-513-2238
FAX 011-513-2244
Eメールアドレス d-kokyoken@sapporo-c.ed.jp